

アイデア住宅に  
いらっしやい!

文●小野寺雅浩  
写真●飯貝拓司  
間取り図●坂井きよみ

老朽化がひどく  
建て替えるつもりが……

天窓や庭に面した大きな窓から、明るい日差しが入るYさん宅。この家を先祖代々住み継いできたが、改装前は日中でも照明が必要なほど暗く、風通しの悪さにも悩まされていた。

「この家に嫁いで五十年たちますが、風呂は二回移動したし、土間だった炊事場もフローリングに替えました。さらに応接間やトイレなど、ちょこちょこ手を入れてきましたね」と話すYさん。

頻繁に改修を重ねたが、年々老朽化は進み、Yさんはこれ以上手を加えるよりも、「いつか建て替えよう」と考えていた。ところが、同じ敷地内の離れに住む



## Yさん宅

大阪府泉佐野市(丁A大阪泉州管内)

築百三十年の住まいは、とにかく暗くて今のライフスタイルにも合わない……。そんな悩みをリフォームで一掃。黒い梁と白い壁のコントラストが美しい、和洋折衷の住まいに生まれ変わりました。

## モダン和風の家

息子夫婦からリフォームの相談を持ちかけられた。

「息子夫婦は、長年住みつづけた家だから、壊さずにリフォームして守りたいって言いました。これには驚きましたね」と、当時を振り返るYさん。

しかし、こんなに古い家がリフォームできるのか、半信半疑だったという。



## Before

以前の住まいは、度重なる改修により、天井や壁のほとんどが合板で覆われ、日本家屋本来のよさが失われていた



リフォーム時に天井を取り払って天窓を設置。室内全体が明るくなった



外観は、古い屋根を取り壊し、瓦をふき替えたものの、古民家らしい重厚なたずまいを残している





リビングは、壁、床、ソファーまでも白で統一し、モダンな空間を生み出している





南側の玄関だった場所にリビングを移動して、明るさを確保

Yさんは、息子から専門誌やインターネットで収集した情報を見せてもらい、じっくり相談したすえ、古民家再生に関して二十年以上のキャリアをもつ建築家・平井憲一さんに依頼した。この時点で、リフォームを決めてから、すでに二年がたとうとしていた。

実際のリフォームのさいには、建築家の提案で、将来も安心して住めるよう基



玄関へ続くアプローチは、建物の外観に合わせ、純和風に



採光や風通しをよくするため、建物を一部壊し、中庭を設けた

礎からやり直し、そのうえで暗さや風通しの悪さ、寒さなどを解消することができた。

また、「和」にこだわらず、モダンな雰囲気を演出し、現代のライフスタイルにも合うようにした。

さらに、天井を撤去して、あえて梁や柱を見せることで、古民家ならではの美しさも強調している。当初は不安だったリフォームだが、そのできばえに、Yさんはおおいに満足している。以前は朝起きると、まず電気をつけていたほど薄暗かったが、今は朝日とともに、気分よく目覚めるといふ。

「それに、ダイニングがきれいになってからは、日曜の夜、息子家族とここでいっしょに食事をすることにしたんです。食後はソファで孫とくつろげるし、とっても楽しいですよ」

また、「和」にこだわらず、モダンな雰囲気を演出し、現代のライフスタイルにも合うようにした。

さらに、天井を撤去して、あえて梁や柱を見せることで、古民家ならではの美しさも強調している。当初は不安だったリフォームだが、そのできばえに、Yさんはおおいに満足している。以前は朝起きると、まず電気をつけていたほど薄暗かったが、今は朝日とともに、気分よく目覚めるといふ。



広々とした玄関には、先祖代々伝わる絵皿をディスプレイ



カウンターキッチンの下は、ダイニング側から使える収納庫に

家事の合間に、中庭を眺めながらよくひと息ついていきます。リラックスできるんですよね

## DATA

●敷地面積	1090㎡
●延べ床面積	235㎡
●竣工年月	2006年11月
●設計	平井憲一建築事務所
●施工	株目の出組

平井憲一建築事務所  
 大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10  
 ATCビルITM棟10-D-1-60  
 ☎06-6614-5522 FAX 06-6614-5533  
 古民家再生ネットワーク <http://www.kominka.ne.jp>

